



沼津方式を生んだ主婦の消費者活動

《沼津市消費者研究会》

カラーテレビの二重価格問題、チクロやカネミ油症など食品の安全性問題など、消費者運動の高揚期、昭和45年に発足。会員230名。PTA活動を通じて知り合いになった母親達が母体となった当時のなごりは、校区ごとの支部組織という形で現在も生きている。

発足時、活動費捻出のために企画した「不用品交換会」や「チラシ広告の調査」は反響を呼び、その後の活動にはずみをつけた。

空缶・空ビン・廃油の回収・再利用の活動では、全市をまき込み、沼津方式と呼ばれるシステムを定着させた。

現在、消費問題の在宅相談員制、地域の河川の水質調査・無農薬野菜が人気の月一回の朝市、暮の産直市などを中心に活動を展開し、地域に密着したグループになっている。

連絡先 沼津市高塚町1の5(ツシマプラザ4階)

電話 〇五五九一(2)八九五四

代表者 城井不二子



母と子ですてきな出合いを

《あんふぁんて静岡》

乳幼児を持つ母親が集まって、子どもの問題、嫁姑の問題・食品の問題などをテーマに学習・交換託児等の活動をしている。清水市在住の会員を含め、現在の会員数は26名。託児保険をとりまとめている全国組織を持っている。

毎月第二火曜日に、中央公民館で例会を持ち、『あんふぁんてだより』も発行している。また、会員宅で料理や手芸を楽しむブロック会、公園保育など生活に密着した活動は会員相互のつながりを強固なものにしている。

昨年は、念願の一泊旅行や、夫婦合同での話し合いが実現した。

今年は、グリム生誕200年を記念して公開の催しを企画中、同時に会発足十周年を迎え、今年は全員意欲に燃えている。

連絡先 清水市馬走9の6

電話 〇五四三(4)九二四八

代表者 中村かな恵



郷土愛の心を培い次代へ伝える

《天竜・上阿多古草ぶえ会》

昭和50年度に、上阿多古小学校の家庭教育学級に学んだ五人が中心になって発足。30代から50代まで、現在会員は十人。

公民館の提唱するふるさと学習から発展して、まず、素朴な人情と緑と清流が育んだ郷土上阿多古に眠る昔話の収集をした。古老から聞き取るなどして集めた百話は、『伝説集ふるさとものがたり』として出版した。

つづいて、『ふるさとものがたり第2集』脚本『手づくり劇集ふるさとものがたり』は、上阿多古小学校の先生の協力で、手がぎで製本され、地元の小学生全員に無料で配布した。

この脚本をもとに、等身大の手づくり人形やペープサートをつかって、人形劇や影絵劇を上演し、地域の人々に先人達の喜怒哀楽や昔話に秘められたロマンを語り伝えている。

連絡先 天竜市西藤平1512

電話 〇五三九(8)〇二四八

代表者 野沢初代



## 日米女性事情

—政策決定の場への参加—



歴も高まり、職業経験や地域活動などを通して、その社会的視野も広がってきています。

しかしながら、女性の政策決定の場への参加が極端に少ないのが日本社会の特徴です。

今回、欧米のいくつかの都市を廻って、何人かの市会議員や、ふたりの元市長の女性達を知る機会を得ました。彼女達を見てみると、確かに、我彼の迫力の差を感じないではいられません。そして、そういう彼女達を取り囲む一般の女性達も、投票日だけの有権者ではありませんでした。

### ★実力が社会の認識を変える

平均的な日本の男性が、仕事でアメリカに暮らし、それまでの性別や人種に対して抱いていた偏見がすっかり吹っ飛んで、人生観まで影響を受けた、と聞かされたことがあります。仕事で何度か接した、ある市のナンバー2行政ウーマンの有能な仕

県内・市町村議会の婦人議員数 (58,12,31現在)

市町村	人数
1 市	2 (A)
2 市	2
3 市	1
4 市	1
5 市	1
6 市	1
7 市	1
8 市	1
9 市	1
10 町	1
11 町	1
12 町	1
13 町	1
14 町	1
計	16

75市町村	人	内婦人	(16)人
議員定数(1621)	議員数	議員数	(1)%

★パサディナで会った女性達が誕生する背後には、市長候補となってもはずかしくない、幾人もの実力を持った女性達がいることを、パ

そして、先般の大統領選挙戦では、敗れましたが、史上初の女性の副大統領候補が出ました。このことは、女性の政治参加意識のすそ野の広さを物語るものとして、私達を驚かせました。

### ★私達自身の課題

昭和21年4月10日以来、私たちが選挙権だけは男女平等に持つています。政策決定の場へのより確かな女性の参画は、私たち自身の意識次第であると、銘記したいものです。

第四回家庭婦人海外派遣団

婦人青少年課 鈴木充代

パサディナ市  
婦人の地位委員会  
Mrs. Nora Mitsumori  
ノラ・ミツモリ



パサディナ市元市長  
Mrs. Jo Heckman  
ジョー・ヘックマン

事ぶりが、その理由だったそうです。

### ★60年代に始まった米国の男女平等化

アメリカで、女性差別を廃止する法的整備が進み、公民権法第七編で、人種・宗教・性別・出身国によるあらゆる差別を禁止し、男女の平等に法的拠り所が与えられたのは、ケネディ政権の影響下、つい一九六四年のことです。

サディナ市で知ることができました。ここでは、現市長は男性でしたが、前市長、前々市長はともに女性でした。そして、議会や、地域での活動を通して、女性や弱い立場にある老人の問題などに奔走している、日系二世のノラ・ミツモリさんを知りました。冒頭の新聞記事は、米国社会に蔓延している老人虐待への彼女の告発記事です。

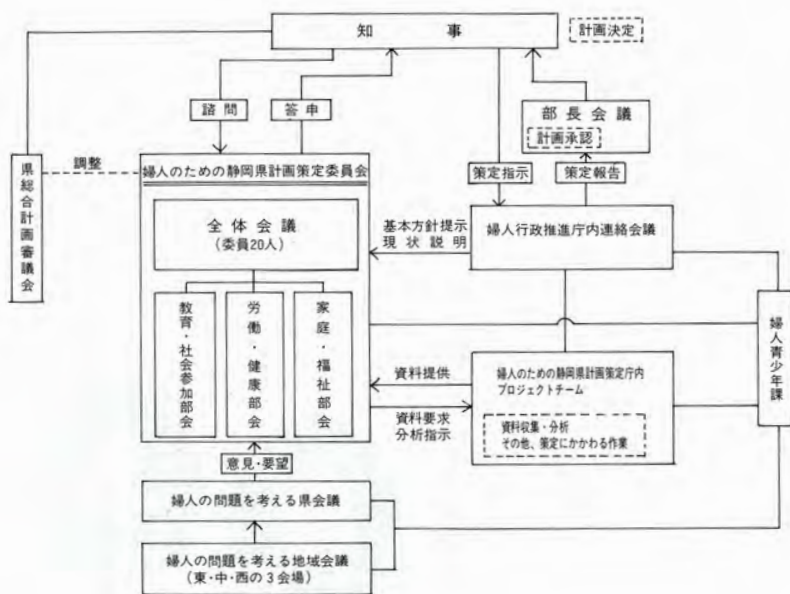
男性と対等の実力を持って、社会



# 婦人のための静岡県計画—続報—

昨年6月26日に発足した婦人のための静岡県計画策定委員会は、三つの部会がそれぞれ活発に会合を持ち、昭和60年度中の答申に向けて、審議を重ねています。

「婦人のための静岡県計画」策定フロー図



婦人のための静岡県計画は、昭和61年から10年間の、県としての婦人の施策の方向を定めるもので、策定にあたっての基本的考え方、基本構想、基本計画等から構成されます。現在、図のような関係組織によつて、策定作業が進められています。

## 婦人のための静岡県計画

## 策定計画への婦人の意見・要望がまとまる

一方、策定委員会への、県下の広い範囲の婦人たちの意見、要望をとりまとめるために開催されてきた、婦人の問題を考える地域会議・県会議も、去る二月六日の県会議ですべての日程を終え、以下のような、意見・要望が策定委員会への提言として出されました。

### ◎教育・社会参加

- 1 性別役割分業意識を変えてゆく学校教育や家庭教育の推進。
- 2 家庭科の内容を、生活者教育として、副読本を作るなど、共修のための研究を進める。
- 3 婦人のための生涯教育・職業教育の拠点となるセンターの設立。
- 4 審議会委員等への積極的な活用を。
- 5 市町村に婦人問題担当の係を。

### ◎労働・健康

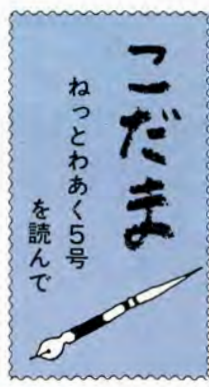
- 1 働く(きた)婦人への情報提供、相談機能を備えた総合的な婦人センターの設立を。
- 2 全職種に一年間の育児休業制度の確立、無給の場合には休険制度を。
- 3 企業内保育所の設置促進を。
- 4 老親介護休暇の制度化を。
- 5 婦人のライフサイクル全般にわたる健康管理体制の確立を。

### ◎家庭・福祉

- 1 主婦の能力を活用した福祉を。
- 2 デイケア、ショートステイの充実を。
- 3 婦人の能力登録制度・組織化を。

### 今後の日程

これらの意見・要望を考慮に入れながら、策定委員会では、59年度に検討してきた、本県婦人の現状に対し、今後必要とされる県としての施策を討議し、いよいよ計画骨子をとりまとめる段階に入ります。



静岡市 川合成子 30代

身近な事を取り上げてあり、読みやすく、親しみのもてるものでした。ただ、主婦も編集に参加し、婦人のための情報誌というのに、一般の家庭婦人に広く読まれていないのは残念です。限られた発行部数で、より多くの人に読まれるために、町内会に一部配布し、回覧してもらおう事を提案します。

沼津市 山形慶子 30代

初めて読んで、男女平等問題に、真剣に取り組んでいる人たちがいることを知り、驚いてしまいました。子を持つ親として、最近の非行の問題は無視できません。非行に関する問題を取りあげて下さい。

熱海市 大田康道 50代

「悩み多い父子家庭」は、恵まれない家庭で育った子の哀れさを感じ、身につまされる思いで読みました。最近女性の社会進出がさかんですが、幼稚園児くらいまでの子どもを持つ母親には、あえて専業主婦でいてほしい。私は古い人間なのでしょうが。

富士川町 太田美美子 40代

主婦業に多くの疑問を感じながら、二人の子を育ててきました。そろそろ子育ても卒業期になり、娘達も巣立っていきこうとしています。

「主婦の自立」「主婦の社会参加」とさまざまな主婦論が言われています

が、最近主人と二人の生活が多くなり、休日などには、家事を手伝ってもらおうようにしています。「家事は女の仕事」ときめつけていた主人だったのに――。

袋井市 山下寿美 50代

三十年余り教職にあった私は、現在三児の育児に追われる専業主婦の嫁と同居。新しい家族像を探る特集は、読みごたえがありました。変らない部分を大切に、新しい主婦像を、人ひとり自分なりに描ききつけかけになれば。人生八十年時代を迎え、高齢化社会の問題も取りあげて下さい。

本

本の紹介

「WOMEN 351・女たちは21世紀を」

岩波書店編集部編



今、それぞれの分野で輝いている女性三五一人が語る21世紀の女性・社会・世界――時代の鼓動が聞こえてくるようだ。男性にも一読を勧めたい一冊。

岩波書店 九百五十円

「教え子物語」

三好京三著



著者が教師時代、何よりも大切にしたのは、子どもたちとの心と心のふれあいだった。学校の荒廃が語られる昨今、教育とは何かを考えさせてくれる。

文芸春秋社 一、一〇〇円

「女の社会学・男の家庭学」

金森トシエ著



三十年間新聞記者として、つぶさに女の立場を見てきて、現在神奈川県立婦人総合センター所長の職にある著者が、新たな男女共同社会への期待を語る。

新潮社 一、一〇〇円

「働く母親の時代」

岩男寿美子・杉田明子編

働く母親が増え続けている現在、最大の悩みは、子育て。子どもの幸福と母親の主體的な生き方をどう両立させるか。豊富なデータを用いて核心に迫る。

日本放送出版協会 七五〇円

「ふつうの女の出番です」

日本経済新聞婦人家庭部編



女が世の中を変える時代、たくさんの方の事例を中心に、女性パワーの可能性を探る。個性ある人生を生きようとするあなたに、勇気と励ましを与える。

誠文堂新光社 一、二〇〇円



# あとがきにかえて

〈編集員座談会〉

**比奈地** 編集員の仕事の内容は予想と少し違っていただけけれど、婦人の問題をいろいろな面から考えることができてよかったです。

**中 浜** それに、今まで何気なく読んでいた一頁の文も、あれだけ話し合いを重ねた末の産物だとわかったし、今後、情報の受手としても勉強になりました。

**小 松** 私は今まで、夫は仕事妻は家庭を守るという役割分担に固執していました。でも、この情報誌づくりを通して、今までの意識を変革する必要があるのでは、と思いはじめました。

**新 井** 私は平凡な主婦としての暮らしの中で、今何をなすべきか何ができるのかを考えていたのですが、「ねっとわあく」に携わったことが、考えることから行動することへのいわば突破口になりました。

**大 石** 何かしたいと模索中だったので、編集の仕事は大変有意義

でした。勉強させてもらった分をどのように消化し、役に立てていたらいいのがこれからの課題と思っています。

**比奈地** 女性の生き方がとても多様になってきた現在ですが、これからは選択の時代、主体的に考え、しっかりした価値観のもとに、自立した人生を歩みたいと思う。

男性と女性が互いに助け合いながら、自由で幸福に生きるためには、まだまだ多くの問題が解決されなければならぬですね。



**中浜** 次代をになう子どもを育てる上で、特に母親の姿勢は大切だと痛感しました。生き方は様々で、選択の幅はあっていいわけですけど、何が一番大切かを考えるゆとりを持ってほしい。それにしても文章を書くのは辛かったです。

**新 井** 今回、婦人問題を勉強したりもしましたけれど、一年では力のつくものでもなく、むしろ編集員どうし、いろいろな話し合えたことが、何よりの収穫だったと思います。

**大 石** 同感ですね。年齢を越えて、本音で議論ができたことがうれしかった。それに、いろいろな婦人の会議や大会に参加でき、婦人の問題を考えるいい機会を与えてもらいました。

ただ、婦人問題は、大筋のところは、今も昔もそれほど変わっていないのではないかと、いうのも一面の実感です。

**小 松** この一年間を振り返ってみると、取材先でいろいろな人とめぐり会えた楽しさ、編集員どうしの気持が通じあえたことなどが特に有意義でした。

「何かをしたいのだけれど、何を、どう始めたらいいのか」思い悩んでいる多くの女性たちが、ただの主婦業で終ることなく、それぞれの私の道を見つけることができるよう祈りつつ、座談会を終りたいと思います。

◆ 本年は、国連婦人の10年最終年同時に、本県婦人問題解決のための処方箋とも言える『婦人のための静岡県計画』が策定されます。ご注目下さい。

## おしらせ

この情報誌の「婦人編集員」(五名)を募集します。

任期は、六十年年度一年間で、年間十回ぐらいの編集会議への出席と、取材が主な仕事です。

くわしくは、四月一日発行の「県民だより」をごらん下さい。お問い合わせは、左記婦人青少年課。



### 59年度・編集スタッフ

新井朱実／大石定子／小松寿々代  
中浜美也子／比奈地信子  
婦人青少年課／山崎賜／大川輝之  
鈴木充代

### 婦人のための情報誌「ねっとわあく」

第6号

昭和60年2月

編集・発行／静岡県生活環境部婦人青少年課

〒420 静岡市追手町9番6号

☎ (0542) 21-2137